

「出会った人からは必要な学びがある」～修了式でのメッセージ～ 3/24

苫小牧市立光洋中学校長 大橋 祐之

3月12日の卒業証書授与式で、147名の卒業生を送り出しました。そして、この後、7名の先生方を送り出すことになります。

人生は生まれた瞬間から出会いの連続であり、別れの連続でもあります。「出会いと別れは表裏一体」「出会いと別れは引力」などと言われますが、やっぱり、「別れ」は、寂しいものです。

……学校祭や部活動など、様々な場面で感動的なドラマをつくるなど、君たちへその後ろ姿で、多くのメッセージを残してくれた卒業生。真剣に君たちと向き合い、「何とかしよう」「何とかなるさ」と、共に歩んできた7名の先生方。そのすべての人たちに、感謝の気持ちでいっぱいです。

今、思うことは「出会った人からは必要な学びがある」ということです。自分とはちょっと違った見方や考え方、はっとさせられるような発想など。時には、人からももらった一言で、自分が救われることもあります。出会った人からは、多くの力をもらい、「自分を成長させる」ためのきっかけをもらっているのかも知れません。

感謝

卒業生から、離任される先生方から学んだことを、感謝の気持ちと今後の自らの力へと変えていくことが、我々の使命です。そして、新たな出会いの中から生まれる「必要な学び」を大切にしてほしいと思っています。

送別集会：心に届いたメッセージ！



1・2年生の発表が、3年生の心へと届いたように感じました。生徒会運営協議会が制作したビデオメッセージでは、3年生が1年生の時の写真などが映し出されましたが、その画像を感慨深く見入っている3年生の姿がとても印象的でした。私が今まで参加した送別集会（計35回）ではなかった光景でした。多くの送別集会では、「ワー」など、笑い声が湧き上がるような場面でしたが……。

1・2年生の工夫が、そして、その思いが3年生に伝わったとても価値ある送別集会となりました。

卒業式：みんながいて光洋中！

卒業生の入場の時、拍手が少なかったように感じ、会場を見渡すと1・2年生がいないことに気付きました。

1・2年生は、各教室にいてオンラインで卒業式に参加していました。

1・2年生も一緒に体育館で、卒業する3年生を見送ってほしかったという思いが……。

「やっぱり、みんながそろって、光洋中学校なんだ！」と、改めて感じる場面となりました。



北海道の公立高校入試制度が変化してきています！！

令和4年度（今春）の北海道公立高校の入試は、下記のような制度変更を行い、実施されました。

【令和4年度における主な変更点】

- 学校裁量問題の廃止（全ての生徒が同一問題を解答）
- 学力検査の時間と配点の変更（検査時間…45分→50分、配点…各教科60点満点→100点満点）
 ※知識・技能を問う問題と思考力・判断力・表現力を問う問題をバランス良く出題
- 定時制課程の入学選抜における自己推薦制度の導入

思考力・判断力・表現力を問う問題の増加は、知識や技能を応用する力（知識や技能をどう使うか）が問われることを意味しています。また、自己推薦制度の導入は、どれだけ自分で考えて主体的に行動してきたかが問われることを意味しています。これは、入試だけでなく、これからの社会で求められる力です。

1・2年生の皆さんには、何事に対しても目標をもって取り組み、自身の力に磨きをかけてほしいと思います。

4月の主な行事



6日（水）学級発表＜生徒玄関掲示＞ 10:00～10:45…2学年 11:00～11:45…3学年 12:00～13:00…1学年 7日（木）着任式／始業式 6組新入生事前登校 8日（金）2・3年生給食開始 第61回入学式※午後	11日（月）二計測 12日（火）対面式／尿検査 13日（水）学力テスト（全学年） 18日（月）認証式 19日（火）全国学力・学習状況調査（3年） 苫小牧市統一学力検査（1・2年） 22日（金）参観日／PTA総会 ※教材費等の口座引き落とし利用へのご協力をお願いします。
---	---

感恩載徳

3月をもって、7名の教職員が光洋中を離任します。離任者一同、これまでのご支援に心より感謝するとともに、お子様の健やかな成長をそれぞれの新天地より願っております。

教 頭	佐藤 通隆（青翔中学校へ）	初任者指導	平沼 秀之（青翔中学校へ）
3年担任	佐藤 正謙（緑陵中学校へ）	事務職員	栗原 健（登別小学校へ）
1年担任	菊池 勝一（啓北中学校へ）	A L T	ギディオン（ウトナイ中学校へ）
1年担任	高橋 勇（退職）		



生徒の皆さんへ～困ったら相談を～

休み期間中で、不安なことがあれば、遠慮せずに学校（72-7255）に連絡してください。また、24時間無料で相談できる「子ども相談支援センター」（0120-3882-56）など相談機関も利用できます。決して一人で抱え込まないようにしてください。

春休み中も感染症予防の取組への徹底をお願いいたします。

- 毎日の健康観察（健康観察シートを記録し、始業式の日持参するようお子さんに指導願います。）
- 同居の方を含め、のどの痛み等の風邪症状がある場合の登校自粛
- 同居の方を含め、抗原定性検査等を受けることになった場合の結果判明までの登校自粛